

Q: 五條市認定こども園について

A: 具体的に調査・審議を進めるため整備推進実施委員会を設置し、協議を行ってまいりたい。

福塚 実議員



五條市学校適正化基本計画について

福塚 学校適正化に対しては不安視している方が多いと認識しているが、素案と学校適正化基本計画の整合性について伺う。

教育部長 平成28年10月に公表した素案から、本年1月に公表した基本計画では変更した点は、①南部地域の小学校を西吉野小学校利用から野原地区に設置②中学校区の統合の2点である。
福塚 地域性や住民感情・学校間の歴史などを全く無視している。学校適正化基本計画を焦るのではなく、より慎重に検討すべきだと考える。

五條市立認定こども園について

福塚 まず阪合部小学校を認定こども園にするのとどこだが、何年度を目的に、何園考えているのかを伺う。
教育部長 現計画案では、

公立認定こども園を市北部に2園、市南部に1園整備、スケジュールは平成34年に阪合部小学校を改修、平成35年に五條幼稚園を中心に新築、平成36年に北宇智小学校を改修して整備する計画である。

福塚 地域に対しての説明会や今後の募集人数などについて伺う。

教育部長 整備に当たり、具体的に調査・審議を進めるため五條市認定こども園整備推進実施委員会を設置し、その中で協議を行ってまいりたい。

福塚 やはり学校適正化が大前提になつているので、それを踏まえて慎重に子供たち・保護者・地域が連携していける環境を目指していただきたい。

土砂搬入業者への対応について

福塚 2月に土砂搬入業者が逮捕されたが、現状につ

いて伺う。

産業環境部長 黒駒町では、県廃棄物対策課との聞き取りの結果、土砂の搬入ではなく不法投棄が確認され、2月に関係者4名が逮捕されている。

表野町では、基準を超えた土砂の搬入があり、口頭・文書指導を行ったが従わず、撤去措置命令送達後も撤去がなかったため五條警察署に告発、2月に条例違反で再逮捕されている。

福塚 地域が安心安全に農業・生活ができるようにこれからも行政・地域の連携をお願いする。



シダーアリーナについて

福塚 防災力強化棟の計画の進捗は。

都市整備部長 防災力強化棟建設工事は昨年11月入札予定だったが、10月の台風21号で建設予定地が浸水したため中止となり、現在浸水対策等の設計変更を行っている。工事は平成30年度着手、平成31年度の完成を予定している。

福塚 浸水によって計画の見直しとなったが、上野公園全体の浸水は過去に5回あったということも踏まえて国や県に要望活動を行い、築堤工事も早急に取り組んで上野公園全体を守る形で進めてもらえばこのような高額なものも要らないと考える。





Q: 五條市学校適正化（案）の各地域への説明会について

A: 要望をいただいたところから、できるだけ早く実施してまいりたいと考えている。

藤富美恵子議員

五條市学校適正化（案）について

藤富 パブリックコメントは、29日間にわたり募集していたが、何名の意見が寄せられたか。

教育部長 郵送・ファックス・電子メール・持参等で意見書提出数は57名である。

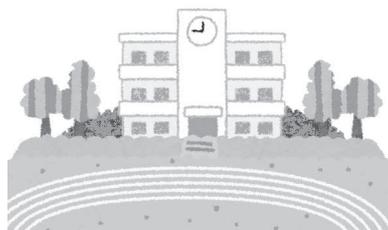
藤富 説明会では「パブリックコメントでいただいたご意見については、教育委員会でもまとめて回答・再検討し、最終の計画案に反映させていく」と言われていた。当然、反映させなければ募集した意味がない。パブリックコメントの回答はいつから公開するのか。

教育部長 3月中に、市のホームページで公開する。

藤富 各地域への説明会については、保護者の方が「素案の説明よりも、今回の計画（案）を説明して欲しい」と言っていた。これまでに、たたき台である素案の説明会は、各地域に向いて30

回も開いているにもかかわらず、今回の計画（案）に対しての説明会は、中央公民館のみでわずか3回だけであった。学校の統廃合は子供を持つ保護者だけの問題ではなく、地域から学校がなくなることは、過疎化に拍車をかけるという意味でも各地域の問題でもある。

また、素案と今回の計画（案）では、全く違った内容になった地域もある。一方的に今回の計画（案）を押しつけるのではなく、また、説明に来て欲しいと要望があるところにだけ出向くのではなく、要望がなくても素案の説明に行ったところへは、すべて出向いて、丁寧な説明をして理解を得る必要がある。



教育長 まずは要望をいただいたところから、できるだけ早く実施してまいりたいと考えている。

健康寿命を延ばす取組について

藤富 健康寿命を延ばす取組として、どのようなものがあるか。

すこやか市民部長 「活動的に生き、元気でやる気を持つって自分の健康を守る」ことを目的に、運動習慣を身につけてもらうため「からだすつきり道場」や「歩きませんか」というウォーキング教室を開催している。**あんしん福祉部長** 住民が主体となって運営する「いきいき百歳体操」に取り組み、要介護状態に陥ることを防ぐだけでなく、地域で高齢者を支え合う『通いの場』を目指している。

また「頭の体操教室」「転ばぬ先の運動教室」「運動力あっぷ倶楽部」等を開催し、高齢者が元気に地域で

暮らし続けるための介護予防活動を展開している。



藤富 各地区に気軽に集えるサロンのな場所をつくり、体操・おしゃべり・歌を歌ったり、お茶や食事を楽しめる。そこには話し相手がいって歩いて行ける。そのような場所が、更なる高齢化社会には必要である。

高齢者対策の今後の在り方について、市長はどう考えているか。

市長 地域でリーダーシップをとって行動を起こしてもらおうのが大事と考える。そこに市としてバックアップし、地域のコミュニティということも踏まえて、各地区に盛り上がりを持つよう行政として取組を進めてまいりたい。



Q: 交通空白地域解消に向けた取組について

A: 地域での持続的な交通網の確保に向けて、地域公共交通ワーキング会議等で検討してまいります。

岩本 孝議員

地域公共交通について

岩本 西吉野地域における地域公共交通の現状についてお尋ねする。

西吉野支所長 西吉野町内ではコミュニティバス2路線、デマンド型乗合タクシー2路線が運行している。

岩本 地域の皆様の足として長年活躍して来られた西吉野タクシーが廃業された。住民の声を直接聞く西吉野支所ではこのような現状をどう捉えているのか伺う。

西吉野支所長 西吉野町内で営業していた民間タクシー業者は昨年12月末をもって廃業した。西吉野町の家屋は山腹に点在している家屋も多く、このタクシー会社を利用されていた住民の方もおられ、タクシーがなくなつた現在、移動手段の確保に支障を来している。

岩本 西吉野タクシーの廃業で不便になっている。こうした中、協力してもらえ

る人を募つてNPO法人を立ち上げて地域の足は地域で守ることも考えている。

住民の「住み続ける足の確保」として、西吉野地域の交通空白地域解消に向けた取組をお尋ねする。

市長公室長 地域での持続的な交通網の確保に向けては、コミュニティバスや乗合タクシーの検証、NPO

等による公共交通空白地有償運送の検討について総合的に考えていく必要がある。今後、地域公共交通ワーキング会議等で検討を進めてまいりたい。



岩本 そのワーキング会議のメンバーに地域の実情に詳しい地元の方も入ってい

ただいて、西吉野地域だけではなく、五條市民に便利に使ってもらえる地域公共交通の構築をお願いしたい。

西吉野支所について（避難所関連）

岩本 西吉野支所は緊急避難場所指定されているが庁舎の現状についてお尋ねする。

西吉野支所長 西吉野支所は、昭和53年に建設され、旧耐震基準の建物となっている。庁舎玄関前にはスロップが設置され、1階部分はバリアフリー化が図られているが、2階以上の昇降は階段の使用となつている。多目的トイレは1階に設置されている。

岩本 避難場所としての必要な機能が整っていないと思うが市の考えを伺う。

危機管理監 西吉野支所は、災害に備えて自家発電装置を設置、水等の備蓄もしているが、新耐震基準前の建

物であり、豪雨等により川の増水で隣接する道路まで水につかることのある状況である。

平成30年に予定している地域防災計画の改定の中で指定緊急避難場所の位置付けについても検討してまいりたい。

岩本 昨年の台風21号では西吉野支所前の宗川が県道まで増水した。西吉野支所を避難場所として使用することに地域の方からすると不安がある。その対応は。
危機管理監 今後の検討が必要であるが、早急な対策として、宗検公民館や西吉野コミュニティセンター、更には、きずみ館活用も含め早期避難ができるよう対応を考えてまいりたい。



Q: いじめや不登校をなくす学校づくりに重点を置くべきでは

A: パブリックコメント等の意見も踏まえ、集団活動の活発化などの教育成果の向上に努めてまいる。

大谷龍雄議員



学校適正化に関する関係者の意見から考えた小・中学校の統廃合計画の見直しについて

大谷 平成28年に小学校8校を4校に、中学校5校を2校にする基本計画(素案)を作り、11月から説明会を各校区で行ったが、疑問や批判の意見が多く出されたため計画を延期し、意見交換会を平成29年1月から各校区で行った。そこでも心配や疑問の意見が多く出されたため、学校のくみあわせを変えた、小学校8校を4校に、中学校5校を2校にする学校適正化基本計画(案)を策定し、平成30年1月からパブリックコメントの募集や中央公民館で説明会を開催したが、ここでも心配や疑問・注文が多く出されているので、小・中学校の統廃合計画案は見直すべきではないか。

大規模校や教職員組合は



少人数学級を求めている。教育内容の難しさやテスト中心の進め方等が原因とされる自殺やいじめ・不登校をなくす学校づくりに重点を置いたととりくみが大切ではないでしょうか。

教育部長

学校適正化基本

計画(案)に関する説明会やパブリックコメントのご意見等も踏まえ、多人数の子供たちによる人間関係づくり・部活動などの集団活動の活発化などの教育成果の向上に努めてまいります。

その他の一般質問

1 台風21号災害の救援・復旧の取組と災害防止の取組について

(1) 災害見舞金の支給について

(2) 農林被害の救済・復旧について

(3) 道路・河川被害の救援・復旧について

(4) 上流ダム緊急放流防止に関する調査について

(5) 吉野川河川の堤防工事の効果的な推進について

2 水道行政に関する開発負担金の確認及び課題の効果的な推進について

(1) 住宅開発や工業団地開発等の開発負担金の確認について

(2) 石綿管の効果的な交換について

(3) 奈良県の五條市・吉野郡3町の水道広域化に関する1市3町

のメリットの追求と早期の掌握について

3 広報五條の正確な広報活動について

(1) 広報五條2月号の個人番号掲載記事について

(2) 広報五條3月号の国民健康保険掲載記事について

4 憲法改正案の危険性から考えた陸上自衛隊駐屯地誘致の見直しについて

